

## ✿ 自立援助ホームで暮らす女性に、

## 「晴れ着プロジェクト」実施 ✿

### ✍ サポート望む施設募集



児童養護施設や自立援助ホームを卒業した子どもを支援する NPO 法人セーフティベース(神戸市長田区:山中孝一代表、以下セーフティベース)は、自立援助ホームで暮らす女性に、晴れ着姿で思い出を作ってもらおうと「晴れ着プロジェクト」企画を実施しました。

そして3月26日、プロによるメイク、着付け、カメラ撮影などが行われました。

### 【「晴れ着プロジェクト」の概要について】

兵庫県内にある自立援助ホームで暮らす20歳の女性(以下、A子さん)は、これまで費用面の問題から晴れ着を着ることができず、成人式や同窓会への参加を見合わせていました。そこで、セーフティベースが自立援助ホームに困りごとをヒアリングしたところ、「A子さんに20歳の記念として、着物を着て写真を残したい」との要望があり、当プロジェクトを始動しました。

日程調整をはじめとして、振袖選びからカメラマンの手配や撮影スタジオ探しなどを行い、撮影当日に向けて準備を整えてきました。そして3月26日、某フォトスタジオにてプロによるメイク、着付け、記念撮影が行われ、「晴れ着プロジェクト」は華やかなものとなりました。

今回の企画は当法人として初の試みでしたが、撮影を体験したA子さんと施設長さんが喜んでいる姿を間近で見ることができて、我々も大変感激しました。今後も当法人の支援として、このようなプロジェクトや企画などの実施を継続していきたいと思えます。





### ☞ 晴れ着女性、A子さんの感想

晴れ着姿を写真に残せることが素直に嬉しくて、撮影当日がとても楽しみでした。気に入った着物が見つかり、当日はカメラマンさんもたくさん声をかけてくれて、楽しくて良い思い出になりました。

### ☞ 自立援助ホーム施設長さんのお話

A子さんは、施設で初めて二十歳になる子です。施設として、なんとか晴れ着を着せて思い出を作りたいと思っている中、セーフティベースからこのようなお声掛けがありました。「晴れ着プロジェクト」当日、A子さんがメイクや着付けをしている姿を見て、A子さんが入所した時からの姿が走馬灯のようによみがえり、思い出して涙が止まらなくなってしまいました。着物姿がとても素敵で似合っていて、良い思い出になったと思います。

## 【 NPO 法人セーフティベースの活動内容について 】

当法人では、児童養護施設や自立援助ホームを退所した子どもへのアフターケアとして、進学や就職、住まい、生活面などのお困りごとについてサポートを行っています。具体的には、以下の4つの支援カテゴリーがあります。

### ① 住宅支援

- ・児童養護施設や自立援助ホームなどを卒業した子どもが、仕事がなくとも住める住居の提供
- ・自立を望む障がい者(身体障がい、精神障がいを問わない)の一人暮らしサポート

### ② 就労支援

- ・児童養護施設や自立援助ホームなどを卒業した子どもに、職場体験をしてもらう
- ・児童養護施設や自立援助ホームなどを卒業後の進路に向けて、就職マッチングのサポート  
また、企業と子供たちとの間に当法人が入り、双方の困りごとを解決する定着サポート

### ③ 生活支援

- ・児童養護施設や自立援助ホームを卒業後、進学して一人暮らしをする子どもへの経済支援
- ・自立援助ホームで暮らす子どもが、進学している期間の交通費や施設利用などの支援
- ・就職や進学などで一人暮らしをする子どもへの食糧支援
- ・児童養護施設や自立援助ホームなどを卒業後、一人暮らしをする子どもへの必要物資支給

### ④ 環境支援

- ・生きづらさを抱える子どもやひとり親の世帯に対し、さまざまな公的支援を受けられるサポートの提供や環境の提供

## 【 NPO 法人セーフティベース設立の背景について 】

当法人を立ち上げる前は、児童養護施設の訪問ボランティアをしていました。そこで出会った子どもは、どの子も元気で人懐っこくて明るい笑顔を見せてくれていました。しかし、そのように過去に辛いできごとがあったとは見ただ目で分からないような彼らが、施設卒業後に社会の中で生きづらい思いを抱えて苦しんでいる現実を、自身の活動を通して目の当たりにしてきました。

親の援助が無いまま社会に出て、過去に受けた心や体の傷が原因で社会に馴染めずに孤立してしまう。それから、生きていくことや自分の人生に幸せを感じることができなくなってしまふ……そのような子どもたちは、私たちの想像以上に多くいます。

私自身にも子どもが4人いますが、離れて住んでいてなかなか会えない事情もあって、ボランティア活動をする中、自分は何よりも子どもが好きで子どもたちの力になりたいという強い思いがあることに気づきました。そこで、これまで出会ってきたような生きづらさを抱える子どもたちに、より一層寄り添った形で支援する方法を実現したいと考えようになりました。

また、自身の半生を振り返って、両親が不仲でケンカが絶えない環境下で育ったことや、児童虐待のニュースを見るたびに辛い過去の記憶が蘇ることもあり、胸が詰まる思いもしてきました。

このような経緯から、「児童虐待を無くしたい」「生きづらい思いを抱える子どもたちに幸せを感じてほしい」という信念のもと、NPO 法人セーフティベースを立ち上げるに至りました。

## 【 その他 】

児童養護施設や自立援助ホームなど施設様のご要望をお聞きしながら、サポートの強化を実施しています。具体的な支援内容に関する当法人へのご要望やご依頼などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

## 【 寄付・ボランティアサポートのお願い 】

温かいご支援をいただきたく、企業様や一般の方からの寄付や有料ボランティアを募集しております。活動内容の詳細は、当 WEB サイトへのアップロードおよび年に一度行政機関へ報告書を提出しています。

寄付の受付はこちらをご参照ください。⇒ [HTTPS://SAFETY-BASE.JP/KIFU](https://safety-base.jp/kifu)

## 【 NPO 法人セーフティベース概要 】

設立 : 2022年1月20日

代表者 : 山中孝一

所在地 : 兵庫県神戸市長田区腕塚町4-2-1 502号

事業内容 : 児童養護施設や自立援助ホームを退所した子どもへのアフターケアとして、  
進学・就職支援、住宅支援、生活支援など ⇒ <https://safety-base.jp/>

## 【 代表 山中孝一について 】

1972年5月生まれ、兵庫県西宮市出身

市立西宮高校卒業後、ガソリンスタンドで勤務しながら近畿大学短期大学部商経科  
(夜間大学) 卒業

当職で勤続25年目の2020年に任意団体セーフティベースを立ち上げる

2022年1月 特定非営利活動法人セーフティベースとして法人化

企業在籍型ジョブコーチ資格取得

保育士資格取得

発達障害児支援士資格取得

## 【 お問い合わせ先 】

NPO 法人セーフティベース

担当 : 山中孝一

電話番号 : 070-8420-0434

E-mail : [s.base@safety-base.jp](mailto:s.base@safety-base.jp)

